



下顎の外周は白い。喉の内側は、特に幼体では黒いものが多い。



鼻孔から吻端までの距離は、鼻孔から目までの距離の約3倍。



鼻のあたりが膨れた感じがある。



うなじの両側に黒いストライプが走る。

ナイルオオトカゲ 〈黄色い小円板の横列〉

学名：*Varanus niloticus*

外国語名：Nile Monitor, African Forest Monitor, Nilwaran, Likkewaan, Waraan, Mampam Sika

異名：ナイルモニター、アフリカンフォレストモニター、アフリカトカゲ（皮革業界用語）、ヴァラーン

原産地：砂漠地帯を除くアフリカ大陸

体長：最大全長 242cm±（頭胴長 60cm±）

類似種：ミズオオトカゲ

掲載種の原因国が日本に輸出するために発行した輸出許可数
(1975～2009年)：11,079 個体

①頭部の形態

- ・鼻孔は丸く、吻端よりも目にやや近く位置する。
- ・眼上板は分化しない。

②鱗の形態、尾の断面の形

- ・尾は基部直後から側扁する（図 3B）。
- ・尾の鱗は下部のものが側面のものより大きく、全く環状に配列しない（図 4A）。

③体色と模様

- ・黒褐色の地色に黄色い水玉模様や点模様がある。
- ・頭から首の背面では細い横線になることが多い。
- ・眼の後ろに伸びる黒い帯模様ははっきりしている。

④類似種との形態の違い

- ・類似種のミズオオトカゲは鼻孔が吻端に近く、眼上板が分化する。



尾は強く側偏する（図 3B）。



鼻孔は吻端より目に近い。



成体は色彩が不明瞭になる。



幼体の腹面の模様。

ミドリホソオオトカゲ 〈どこをとっても細長い〉

学名：*Varanus prasinus*

外国語名：Green Tree Monitor, Emerald Tree Monitor, Smaragdwaran, Wyniss

異名：グリーンツリーモニター、エメラルドツリーモニター

原産地：ニューギニア島

体長：最大全長 75cm±（頭胴長 24cm±）

掲載種の実産国が日本に輸出するために発行した輸出許可数
(1975～2009年)：1,057 個体

①頭部の形態

- ・吻は扁平で、鼻孔は円形ないし卵形で、目よりも吻端に近く、やや上向きに開く。
- ・眼上板は幅広い板状に分化する（図 6B）。

②鱗の形態、尾の断面の形

- ・他のオオトカゲと比べて体が細長く、尾も非常に長く尾率は 2.0～2.3。尾は先細りの円筒形で尾端のみ側扁（図 3A）。

③体色と模様

- ・全身が緑色で、頸部から胴の背面には黒い V 字型の模様が入る。
- ・樹上で生活し、尾を物に巻き付けることができる。
- ・興奮すると、尾をぜんまいのようにくるくると巻く。

④類似種との比較

- ・非常に細長い体型は他のオオトカゲと区別しやすい。
- ・近年このグループで、体色の異なる近縁種がいくつか知られている。